

# やまがた認知症カフェ通信 2017 7月号

平成30年7月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

## 山形県認知症施策推進行動計画 基本目標① 認知症の正しい知識の普及促進



今回は、山形県認知症施策推進行動計画において、基本目標の1つである「認知症の正しい知識の普及促進」の内容について紹介します。

### ◆ 認知症サポーターの養成

県及び市町村は、認知症についての知識の普及促進の一環として、認知症に対する正しい理解を持ち、認知症の方や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」の養成を行ってきました。

本計画では平成32(2020)年度末までに**15万人のサポーター養成**を目指しています。現在、県内には12万人を超えるサポーターがいますが、市町村ごとに養成数にバラつきがあることや若年層が少ないなど課題があります。県では、サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトを引き続き養成し、サポーター養成講座の普及を図っていきます。

認知症サポーター養成講座は、認知症の基本的知識についてわかりやすく学ぶことができ、地域や学校、企業など様々なところで実施されています。県内各市町村のサポーター数は県のホームページからも見る事ができます。まずは、お住まいの市町村の養成状況をご確認いただき、キャラバン・メイトの方は特にサポーターが少ない地域において、認知症カフェ等を拠点にサポーター養成講座を開催してみたいはいかがでしょうか。

### ◆ 認知症サポーター活動の活性化

暖かい見守りの目を育むことで認知症に寛容な社会を創っていくと同時に、サポーターを認知症の方とその家族に「見える形」で実践的な活動に結びつけていくことが期待されます。既に、サポーターの中には認知症カフェのお手伝いや施設等で傾聴ボランティアを行うなど積極的に活動されている方もいます。また、地域によっては、認知症の方の徘徊による行方不明を予防するために、サポーターや地域住民とともに「声かけ訓練」を行っています。認知症が疑われる方を見かけたら、勇気をもって一声かけることもサポーターとしてできることのひとつです。県では認知症サポーター活動の好事例を紹介し、普及拡大することなどにより、当該活動の活性化促進を図ります。



## さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！



### カフェ利用から様々な出会い ～ホットなお話しのご紹介～

さくらんぼカフェは、オープンして4年目を迎えました。この間、多くの利用者の方との出会いがありました。

「カフェ」は、第三の居場所とも言われ、利用者一人一人が自分を取り戻し、ホッとした時間等を過ごす暮らしに身近な居場所です。悩みを誰かに聞いてほしい、家族のことで悩みを話したい、また、さくらんぼカフェには卓球台があるので運動不足と認知症予防として親子で利用、その後親子でコーヒーを楽しんで帰るなど、様々な利用者がいらっしゃいます。

最近のホットな出会いをご紹介します。

○他県からの遠距離介護者同志の出会い、その後は電話で介護の悩みを話すなどにより孤独の介護についての不安が解消、笑顔の姿が見えていました。

○手元にある材料でお話しながら風鈴を作りました。今頃は、いい音色を奏でているでしょう。

誰でも孤独では耐えられません。抱え込まない、仲間を見つける出会いの場がカフェ。どうぞ、地域で悩んでいる方がいましたら、地域の誰かがひと声「カフェ」にお誘いできれば、それも目指す「高齢者にやさしい地域づくり」への素敵な支援のひとつです。



## 子どもから高齢者までみんなが集える楽家の取組み

### 特定非営利活動法人ぼらんたす 楽家(らくや)

認知症になった人とその家族から集ってもらうには、かなり高いハードルがあります。認知症になった人の健康や身体の状態にもよりますが、単に集めるだけではなく、何かをやる場(例えば健康体操など)として集ってもらうには、更にハードルが高くなります。

ぼらんたすが、運営する楽家(らくや)は高齢者等の居場所づくりのために空き家を利活用している建物ですが、バリアフリーに対応していない等、数多くのハードルがあります。ディサービス施設でもなく、送迎の車もありません。しかし、認知症対策には取り組んでいかなければならないとして、昨年に続いて開催を予定している「こども食堂」と同時開催をして、その場を作ろうと考え、計画を練っています。

日中のこども食堂は、土曜日に開催されます。多い時では10人近い子ども達が集まります。保護者も含めると倍近い人数になります。昨年の試みからは、認知症の人からも手伝ってもらったり、一緒に食事をとったりすることが好結果につながることで実感できました。また、土曜日の日中だったら介護をしている家族からの参加も望めるのではないかと思います。

人がその場に居るには、何かの目的があったり、任務があったりするものが自然で、何にも無いのにそこに居ることには慣れていないのではないのでしょうか。ある意味、誰でもが認知症予備軍であるとすれば、とかく手薄になるこども食堂の提供側に多くの人に積極的に参加してもらうことが、認知症予防も含めた場づくりになるのではないかと考えています。お問合せ 特定非営利活動法人ぼらんたす 鶴岡市陽光町 10-36 TEL 0235-33-8730

**らくやこども食堂 2018**

人数：1回15名まで

やってる日	おひるごはん	いくら	子ども	おとな
8/18 (土)	9/1 (土)	10/6 (土)	11/3 (土)	12/1 (土)
12:00~14:00	18:00~20:00	200円 (高校生以下)	300円	

どこでも楽家 (住所：鶴岡市陽光町 10-36)

主催 & お問い合わせ 特定非営利活動法人ぼらんたす  
E-mail: info@voluntas-npo.com  
TEL: 0235-33-8730 (TEL 受付日 10:00~15:00)  
FAX: 0235-35-0433

後援：鶴岡市社会福祉協議会(予定)  
この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施します。◆研修会も開催します。裏面をご覧ください。

## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

## 臨床美術体験会のご案内



- 日時：8月8日(水) 14:00~16:00
- 場所：さくらんぼカフェ
- 内容：臨床美術体験～夜空に咲く花火をつくろう～
- 申し込み：7/20(金)まで下記連絡先へお申込みください。
- 連絡先：山形県長寿社会政策課 斎藤  
電話：023-630-2197

## 世界アルツハイマー月間 2018

### 「認知症 つながる心が 笑顔呼ぶ」

(2018年アルツハイマーデー標語)

世界アルツハイマーデー(9月21日)は、国際アルツハイマー病協会(ADI)が認知症への理解をすすめる、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定。今年は第25回目に当たります。また、9月を世界アルツハイマー月間として世界各国で啓発活動を行っています。「家族の会」は今年も全国各地で啓発活動に取り組めます。

## カフェ情報

### 戸沢村「認知症カフェ・むらカフェ」

当事者やご家族が悩み等抱えこまないようアットホームな雰囲気でおしゃべりできる交流の場で、素敵な名前で開催しています。

《8月の「むらカフェ」ご紹介》

- ◆8月8日(水) 午後1時30分~3時30分  
場所：戸沢村保健センター2階
- ◆内容：「冷たい抹茶を点てて楽しむひととき」  
講師：お茶の福田園 福田 真氏  
定員：30名 (8月3日〆切です)

次回は10月に楽しい企画で開催予定

◆お問い合わせ・申し込み先

戸沢村地域包括支援センター保健師村上氏  
電話：0233-32-0661

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)  
電話・来所相談・カフェオープン月曜~金曜日 昼12時~午後4時  
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。